

文書・データの大量送信を低コストで可能に

■フロッピーディスク70枚分のデータをファクシミリ感覚でそのまま転送

ヤマハフロッピーディスクファクシミリ『FDX10E』

1992年3月

ヤマハ株式会社

本社：静岡県浜松市中沢町10-1

社長：上 島 清 介

当社では、一昨年8月発売した『FDX1』（愛称：FDわーぶ）のニューモデル、ヤマハフロッピーディスクファクシミリ『FDX10E』を、3月20日(金)から発売いたします。



<製品概要>

本製品は、フロッピーディスクドライブを2台（3.5インチ,5.25インチ各1台）と電話機を一体化したISDN（総合デジタル公衆回線網）専用のファクシミリです。送信側、受信側に設置し、各機種のワープロやコンピュータのデータをフロッピーディスクのまま高速で送受信を行うことができます。

ISDN回線は92年3月末までには7万5千回線に達するとみられていますが、このペースで普及すると、2年後の94年3月までには約6倍の45万回線に達するものと予測されます。

パソコンやワープロ同士で通信する際、同機種での通信や機種の互換性を確認する必要がありますが、このため新たにデータ・ネットワーク・システムを構築しようとする場合多額の費用がかかることとなります。また、パソコンやワープロ同士での通信では送受信に時間がかかるほか、一回に送受信できる情報量は限られたものになっているのが現状です。本製品は、現在使用しているワープロやコンピュータのデータをフロッピーのまま送受信することができるほか、各所から送られてくるデータ容量がフロッピーディスクにして最大約70枚まで自動的に内蔵メモリに蓄積することが可能となっています。さらに内蔵メモリ（40MB HDD）には複数の（最大100個）のメールボックスを設置し、それぞれのメールボックスから個別に引き出すことができます。

また、大型液晶スクリーンの採用で漢字の表示が可能となり、機能操作も十分な説明が表示可能となっています。

『FDX1』と組み合わせ、『FDX10E』を中継機能として使用すると、いったん中継機にデータを蓄積して、中継機から複数宛先の『FDX1』に順次同報を行なうことが可能となり、遠距離への同報送信が低コストで行えます。

<特 徴>

- ① 40MBの内蔵メモリ搭載により、最大40～70枚のフロッピーディスクデータの送受信を可能にしました。受信したフロッピーディスクデータは自動的にメモリに蓄積されますから夜間の無人送受信も可能となります。
- ② 内蔵メモリは複数（最大100個）のメールボックスに分割送受信することができます。また、セキュリティ機能※₁により指定先以外からの情報の出し入れを管理することができます。
- ③ 通信管理レポート、各種リストは大型液晶スクリーンや接続したプリンターにより出力が可能です。
表示文字数：36字×12行（英カナ文字）、18字×12行（漢字）
- ④ 中継機能を使用することにより、いったん中継機のフロッピーディスクデータを蓄積して、中継機から複数宛先（最大100件）に順時同報を行なうことが可能となり、遠距離への同報送信も低コストで行なえます。
- ⑤ 時刻指定発信機能を使用することにより、発信時刻を指定でき通信料金の夜間割引を利用できます。
- ⑥ メールボックス単位に蓄積したデータをポーリング通信（相手先のデータをこちらから要求して受信できるシステム）によって引き出すことが可能となり各支店、取引先からデータを収集することができます。
- ⑦ ISDNの特徴であるエラーフリー※₂を最大限に活用、かつベリファイ機能※₃により、高信頼性を確保いたします。

品名	品番	価格(消費税別)	発売日
ヤマハフロッピーディスクファクシミリ (FDカーDEX)	F D X 1 0 E	970,000円	3月20日

※本製品の使用には I S D N 回線 (NTT) の契約が必要です。

※また通信には送信側、受信側それぞれに本製品もしくは『FDX1』の設置が必要です。

初年度販売予定数 = 200台

<主な転送データ例>

受発注データ

電算写植データ

ワープロデータ

CAD/CAMデータ

ソフトウェアプログラム

納品・配送データ

<注>

※₁セキュリティ機能

パスワード、電話番号等を利用し、指定先以外へのデータの流出および指定先以外からのデータの侵入を防ぐ機能です。

※₂エラーフリー

I S D N では、端末機器を接続するモジュージャックからモジュージャックまでの通信回線上のエラー発生率を約10万分の1以下に抑えています。(エラーフリー)

※₃ベリファイ機能

ベリファイ機能は、モジュージャック以降の端末機器内で発生するエラーを抑えるものです。通信時はもちろん単体でフロッピーディスクのコピーに使用した場合もベリファイ機能は使えます。

<主な仕様>

項目		
適用回線		総合デジタル通信網（回線交換）……………1回線 専用回線（インターフェイス:64kbps）……………1回線
通信プロトコル		ISDN通信プロトコル HDLC（LAP-B）
通信機能	短縮ダイヤル 順次同報通信 中継同報通信 ポーリング通信 メールボックス機能 短縮グループ	最大100カ所 最大100カ所 最大100カ所（2次中継まで可能） 最大100カ所（ポーリング受信時） 最大100カ所 最大32グループ
FD転送機能	FDタイプ	3.5インチ 2DD/2HD/2M 5インチ 2DD/2HD
	記録方式	MFM/FM 方式
	送受信フォーマット	ISO、IBMに準拠するもの全てに対応（ボリューム転送） ただしコピープロテクトされたものは除く
	内蔵メモリ	40Mバイトハードディスク（複数FDの連続送受信機能）
	ベリファイ機能	ダイレクト受信時、受信されたデータとFDに書き込まれるデータを比較
	セキュリティ機能	識別着信、パスワード通信機能（システムパスワード 親展パスワード、中継パスワード） 圧縮/伸張機能
FD変換 （FDコピーを含む）		3.5インチ2DD 5インチ2DD 3.5インチ2HD 5インチ2HD 3.5インチ2M
外部インターフェース		プリンタ接続用コネクタ（各種リスト出力機能用として）
装置状態監視表示機能		LCD：320×240ドット 時計表示、通信時間、課金情報表示、通信者番号通知 サブアドレス通知、通信種別表示、通信状態、 装置状態表示
使用電源、消費電力		AC100V、50/60Hz、50VA
外形寸法、重量		421(W)×319(D)×149(H)mm 約6.2kg



ヤマハフロッピーディスクファクシミリ『FDX10E』（FDわーぷEX）

価格＝970,000円（消費税別）



ヤマハフロッピーディスクファクシミリ『FDX10E』（FDわーぷEX）
価格＝970,000円（消費税別）